

富士見パノラマでロケ 映画「夜明けの街で」

掲載日時 2011-3-1 6:00:00 | トピック： 地域

富士見町の富士見パノラマスキー場で2月27日夜、映画「夜明けの街で」のロケが行われた。スキー、スノーボード利用者役の男女エキストラは、60人の募集人員を大幅に上回る約100人が参加。主演の岸谷五朗さん、深田恭子さんのツーショット撮影中、何度もゲレンデを滑り降りた。小林一彦町長もスキー場従業員役で急ぎょ出演し、ワンシーンを撮影した。映画は今年秋に公開予定。

映画は、直木賞作家、東野圭吾さんの同名小説が原作。ゼネコンに務めるサラリーマンが主役のサスペンス。不倫相手は、間もなく時効を迎える殺人事件の容疑者だったという物語。同スキー場は、新潟県内にある「パノラマスキー場」の設定。会社員（岸谷さん）が同僚とナイタースキーに訪れ、後から駆けつけた恋人の元派遣社員（深田恭子さん）と会い、関係を深める重要な場面を撮影した。

俳優や角川映画スタッフら約100人が訪れ、午後5時ごろから午前0時すぎまでロケ。諏訪地方を中心に町内の中学生からお年寄りまでのエキストラは2グループに分かれて参加した。

小林町長は「監督にあいさつしたら急に指名があった」と、会社同僚役の俳優が記念撮影する場面でシャッターを押す従業員として参加。顔は映らなかったが、「撮りますよ」「もっと右に寄って」「ハイ、チーズ」というせりふが録音された。小林町長は「スキー場のPRになる。ゲレンデから町の夜景は素晴らしく、映画の中に登場すれば宣伝効果は大きい」と期待していた。

若松節朗監督は長野日報社の取材に対し、富士見パノラマを選定した理由を「東京から近く、恋人の聖地に認定されている点も考慮した。バレンタインデーという設定なので」と答えた。「林の中で、雪をも解かず2人の熱い抱擁もあります。スキー場や町の皆さんに協力していただき、助かりました」と感謝した。